

ますので、しつこく質問は申し上げません。すべてこれ、要望にしておきたいと思ひますけれども――。

そこで、避難所につきましても、いざというときに我々市民が無事に安全な場所へ誘導していただけるということであればよろしいわけでございますので、どうかひとつそういう際には、我々市民に対して特別の御配慮をいただけますように、要望をしておきたいと思ひます。

また、町会等の補助金につきましては、ただいま助役の答弁の中にも、やはり名義をそれぞれの町会なし地域から市の方に移すのは大変難しいという御答弁でありますけれども、確かにそのとおりだと思ひます。しかしながら、問題は各町会にかかる権利金の問題が主でございますので、それらの点は十分にひとつ考えていただいて、できる限りお骨折りをいただいて、それぞれの町会に何とかひとつ便宜を図っていただきたい、このように考えますので――検討をする、検討をする、検討は何百回されても前に進まないわけでございますので、検討した後に、実行にひとつ移していただくよう御努力を願えるように、これもひとつきつく要望申し上げておきたいと思ひます。

また税金の徴収につきましても、今後は万全を期し取り組んでいただきたいと思ひます。もし、人間のやることですから間違ひがないとは言ひ切れません。そこで誤ちが発見されたという場合には、万が一にそういう場合があったとしたならば、速やかに市民に迷惑がかりないように、ぜひひとつ対処をしていただきたい。こんなふうにこれもやはり要望しておきたいと思ひます。

それと、最後の地名の問題でございますけれども、若い人たちが非常に、この「大字」という問題で、いろいろなところの手続で、多くの人からばかにされるような機会が非常に多いんだそうです。そういうことで、金がかかるのはわかっておりますけれども、何らかの形でこれらもひとつ真剣に考えていただいて、区画整理とあわせて地名変更が行われるということであれば、予算も恐らく倍以上かかるのではないかと。地名変更だけでしたり区画整理が要ふんだから、もっと安く変更ができるのではないだろうかというふうな素人考えもできるわけでございしますので、どうかひとつその点も含んでよく御検討をいただいて、前向きな姿勢で進んでいただきたいと、このように要望しておきたいと思ひます。

また最後の建ぺい率につきましても、先ほどお伺いするところによりますと、福

生市の三割地区は全体の面積の五四%ですけれども、福生よりもっと都心に近い市で、府中については八〇%であるとか、三鷹市の七〇%、国分寺の六八%に比べればまだ少ない方でありますけれども、これはそれらの地域を含んで多摩地区全体に見直さなければならぬという時期に来ているのではないか、こんなふうにも考えられるわけでございます。

そこで、市独自の運動ということであればやはり余力もありませんけれども、これが広域圏の中でまとまって運動を重ねて、都なり国なりに運動をしていくならば、もっと力が発揮できるのではなからうかと、こんなふうにも考えられるわけでございますので、どうかひとつ勇氣と決断と努力をもって、実現に向かって最善の努力を尽くしていただくよう強く要望いたします。私の一般質問を終わります。ありがとうございます。

○議長(森田治男君) 次に、十九番 宮沢良一君。

(十九番 宮沢良一君 登壇)

○十九番(宮沢良一君) 貴重な時間をいただき、一般質問をさせていただきます。

最初に総合福祉センター建設についてお尋ねいたします。

なぜ建設かについては、五十三年九月、六十年九月とお願ひしておりますので省略いたします。先ほど、赤屋議員に対する答弁で、品川とか二、三ヶ所を視察したが、福生市と大同小異である。立川、八王子が時代に対応したものを建設に検討中ということでございますが、福生市としても時代に対応できるようにもの、また福生市民が公平な利用施設となるような、他市に誇りを持てるような総合福祉センター建設をお願いする次第です。

したがって、調査、研究については、海外というわけにはいきませんが、遠くともよいものが建設という情報が入ったり調査に出張すべきだと思いますが、この点についてお尋ねいたします。

次に、ペンダント方式による緊急時の通報システムについてお尋ねいたします。

前回、小野沢議員にもこの件について取り上げていただきました。いすれにしても実施していただかなければならない問題でございます。最近また御案内のように、都内で一人暮らしのお年寄りが七くなって何日もたっていたというニュースが聞かれます。お年寄りにとっては不安の毎日であり、早くそいいただきたいと強い要望でございます。

ます。その後の進展をお伺いたします。

次に、飛行機博物館設置についてお尋ねいたします。

この件については、五十八年九月定例会で一般質問しておりますが、市当局におかれましては、何うかの検討、研究をされたのかどうかお尋ねいたします。

本年七月、行事審の答申にも、税財源確保の上からは福生市の顔となるような観光資源開発が必要である。例えば横田基地があることに伴うマイナス面を逆に生かし、それを最大限に活用するような施策、基地を生かした特色あるまちづくり、それにより日本人はもとより外国人も集まってくるようなまちの建設、あるいは航空ショーや飛行機展示館等の建設など、福生市百年の計を考えた観光資源開発を必要とすると言っております。当局としても積極的に取り組まなければならぬと思います。

私は、この際公園に要りなくなった飛行機を一機でも展示するとか、一つ一つ積み重ねながら進めていくことも大事だと思います。土地の問題もあるでしょう。飛行機公園あるいは将来に向けての飛行機博物館建設の調査研究委員会設置のお考えがありますかどうか、改めて当局の今後の取り組みについて

お尋ねいたします。

次に、公営駐車場設置についてお尋ねいたします。

福生駅周辺駐車場、あるいは市民会館、市営球場等、公共施設に駐車場の設置を、市長さんに一生懸命お願い申し上げているわけですが、市長さんもこれに對し、早く駅周辺に完全な公営駐車場ができることは、衰退ぎみの西口周辺再開発の起爆剤になること受け合いたと。また市営球場や少年野球場などの付近における路上駐車が目立ち、大変危険であったり迷惑をかけておりますので、駐車場の設置が急務であると。しかしこれも防衛補助を仰ぐということになりますと、メニューのこともありますので拡大への努力をいたす以外にはありませんので、何とかよろしくお願いをという御答弁でございました。

私は、市民の強い要望でありますのでこの次一般質問でまた聞かせていただきますと、このように前回の経過でございます。

先ほど、赤星議員に対する答弁では、理事者のお考えはつくらなければならぬということとは前と変わりはなく、建設に向かつての進展は何もなかったと御理解せざるを得ないのであります。当局としては、あくまでメニューの拡大で防

衛補助事業で実施をお考えなのかお尋ねいたします。

次に、民間機乗り入れについてお尋ねいたします。

前回、乗り入れの運動方法と、成田、羽田へのヘリポート設置についてお尋ねいたしましたところ、市長さんは、現在米軍及び自衛隊飛行場に民間航空が乗り入れをしているところは六飛行場あると。千歳市、三沢市に運動方法等についてお聞きしましたところ、まず共同使用に対する米軍側の了解が得られるかどうかが一番である。さらに採算性や環境上等の問題もあり、またできれば広域的な取り組みも必要である。いずれにいたしましても、福生市の活性化を図るためにも今後さらに調査研究をさせていただき、必要に応じて議会側にも相談申し上げ、米軍関係機関との折衝や広域的な面を含めまして取り組みたいと考えております、と御答弁をちょうだいしたわけですが、その後の進展をお尋ねいたします。

今回は新しいメニューは一つもありませんが、中には五十三年からお願いしているものもあるわけです。市長初の理事者の御理解ある御答弁を期待いたし、私の一般質問とします。

(市長 田村匡雄君 登壇)

○市長(田村匡雄君)

宮沢議員さんの御質問にお答えいたします。

老人福祉対策でございますが、総合福祉センターの建設についてでございますが、建設についての基本的な考えは、先ほど赤星議員さんへの答弁のとおりでございます。御指摘の件については、関係者を動員いたしまして調査研究をさせていただき、いろいろに思っております。また、用地等の確保が重要な件でございますので、これに向けても早期に取り組みたいと思っております。

次に、ペダント方式による緊急時の通報システムについてでございます。昨年九月並びに本年六月の議会におきまして御答弁申し上げましたが、この制度の一番の問題であります近隣の緊急通報協力員を中心とした地域の協力体制づくりと、対象者の実態把握につきまして、民生委員協議会及び社会福祉協議会の協力を得まして、現在調査が終わり集計に入っております。

また、社会福祉協議会が実施しております指定地区の福祉活動推進事業といたしまして、市内の三地区をモデル地域といたしまして福祉活動の検討を

していただいておりますので、試験的にお願いする方法もあるかと思っております。いずれにいたしましても、その体制が整わなければなりませんので、検討結果によりまして設置に向けて考えたいと思っております。

次に、飛行機博物館等についてでございます。

公園内に飛行機を置くことができるかどうかというような御質問でございますが、現在、市内の都市公園数は三ヶ所ほどでございますが、それぞれの公園がその機能を十分に果たしている状況であります。公園内広場は多目的広場として子供たちの遊び場、ボール遊び場、金踊り、夏祭り、その他運動等にご利用されております。このように幅広く市民の皆様にご利用されている状況でございます。御質問の、公園内に実物の飛行機を置くということは、まず面積的にもまた管理上からも困難な面が考えられますが、なお調査研究委員会を設置いたしまして、今後内部的に検討をいたしたいと思っております。よろしくお願いたします。

次に、駐車場についてでございます。

福生駅周辺におけることでございますが、本件については大変にいつも御心配

をいただいております。私どもの努力が足りませんのでまことに申しわけない次第でございます。以前にも申し上げましたが、今日駅周辺に駐車場が商業活性化を図る上で、大変重要な施設であるわけですので、何とかしなければならぬことは十分承知しているところであります。

しかしながら、土地の問題と合わせ、仮に整備となっても、防衛補助を仰ぐには基地周辺整備法八条関係のメニュー拡大を図ることが必要不可欠であります。どちらも大変に難い問題であります。御案内のとおり、国は緊縮財政が続きメニュー拡大など望まない状態であります。しかし、私は今後とも基地対策特別委員会を初め議員各位のお力添えを切に願っています。基地対策事業の拡大を図れますよう努力をしておりますので、よろしくお願いたします。

次に、横田基地の民間機乗り入れについて、乗り入れ運動、ヘリポートについて一緒にお答えいたします。

御案内のように、この問題は大変大きな問題でございます。私も多摩地域、殊に西多摩地域と他地域との交通運輸の関係は、単に道路、鉄道だけ

でなく、将来的に飛行機やヘリコプター等の空路によるものが必要になると思います。

しかし、それが単に福生だけでできるものではありませんので、広域的に検討することになりだんだんに機運を醸成する必要があると考え、西多摩地域広域行政圏協議会の中での話しかけを始めております。今後とも圏域の中での研究等を進めていただくよう問題を出してまいりますので、よろしく御協力を願います。答弁にかえさせていただきます。

○十九番(宮沢良一君) 自席で再質問させていただきます。

まず第一点の総合福祉センターでございますが、六十二年から六十三年度の市実施計画に、心身障害者、老人母子児童施設等、複合施設としての総合福祉センター建設についてその検討を進めると言っています。ここで私は確認しておきたいのですが、五十三年にもお願いしているわけですが、慶弔の場もぜひひとつスペースの中に考えていただきたいと、このようにお願いしてきたわけですが、今回そういった考えがおりないかどうか、この点をお伺いいたします。

それから、先ほどの市長さんの答弁で、さらに調査研究ということでございますが、

少々遠くても時代にふさわしい総合福祉センターが他市で建設情報が入った場合には、それに対しての研究調査ということで職員をプロジェクトなり何なり検討して、あるいはそういったものに参画するかどうか。今までは都内の調査研究、そういったことで大体先ほど答弁では、福生と大同小異であるということが述べられておりました。そういうことで少々遠くても参画して立派な総合福祉センターをつくるための調査をといわれると言われたかどうか、その点もう一遍確認させていただきます。

それからペンダントの件ですけれども、一生懸命取り組まれているということがよくわかりました。そこで、市内の三地区、モデル地区として試験的にやってみるということですが、大分積極的に頑張ってきたということで、その状況の整い次第だと思えますけれども、お年寄りにしてみれば一日一日が不安なわけです。現在、福生市に約二百五十人ですが、一人暮らしのお年寄りがいるわけです。その方々の気持ちになれば、福生市も一日も早くやってもうたいなあと、うう気持ちです。かり——もう一遍伺いますけれども、これは大体来年あたり実施していただけるのかどうか。ひとつ頑張る来年あたりやろうと、こう歯切のいい御答弁を

いただければ、まことに感激にたえぬ次第でございますが、この点もう一度お聞かせ願いたいと思います。

それから飛行機博物館でございますが、これは瑞穂町で、この前上野議員さんの一般質問の中でも出ましたけれど、行政圏で瑞穂町から出てきているというのです。瑞穂町につられてしまえば、これはもう福生は何のメリットもないわけです。また、あるいは最近新沢市の市会議員という人なことで話し合ったときに、うちの方は基地が二分の一返還になったと。その跡地に飛行機公園の計画を、今立てている人ですと。それを聞いたときに、これはやっぱりどこも考えていることは同じだと。そのときに、これは福生はなかなか観光資源の材料が乏しいのに、せっかくいいアイデアじゃないかなと思っただけれど、よそに取られてしまうんじゃないかと、こういうような感じを受けたわけです。

福生市の基本計画に、観光資源を広域にわたって周知させるとともに、身近な資源の開発と新たな資源の研究に努めるとうたっているわけです。福生市の基本計画の中に、述べるのは簡単ですけども、実際問題として身近な資源の開発が、新たに資源の研究の成果というかな新たな資源の芽生えと

いうものに何らかの形で成果があったかどうか。この点一つお尋ねしたいと思います。行革審では、観光資源開発とは人がつくり出すものであると、審議会はそう考えますと言っています。私はそのとおりだと思います。市長さんは、先ほど調査研究委員会を検討しようという、設置を検討しようと言ってくださったんで、これはなるべくひとつ早く設置していただきたいと。このまた設置が、一歩前進になることは間違いないと思いますけれども、横田基地も、私はやはりそう長く続くとは限らないと思っっているんです。

最近、戦艦ニュージャージーが入港で問題になっておりますけれども、戦艦から敵地にも自由に核攻撃ができるという。またそのほかにも、今はもう宇宙時代ですから、基地が要りなくなっていくじゃないかと。そういった時代に、基地の返還あるいは一部返還になるというようなことが、これから先わかりませんが、それでも近い将来なるという場合に、そのために今からこの運動をしていかなければならないと思うんです。

日ごろの運動が、やはり日ごろの福生市の叫びが、福生市さんはずっと前からこういった問題に執念を燃やしておられると。そういったことで、返還の後には、しよ

うがない。飛行機博物館をひとつつくってくださいと。東京都でやりましょうか、国でやりましょうかと、こういうふうになるかもしれません。そういったことでやはり日ごろの運動というか、国家百年の大計に立てのやっぱり一つ一つの積み重ねが大仕事だと思ふんです。今、あきらかに言えば夢かもしれません。やはり夢を叶えるために努力するのも大事だと思ふんです。そういったことで、ひとつ市長さんもこの件については調査研究の委員会を設置検討しようと言ってくれたんで、一歩前進だと思ひますが、それ以上言っても今回は無理だと思ひますので、この点はじゃあこの程度にしておきましょう、飛行機博物館は。とにかく調査研究委員会を早めのひとつつくっていただきたいと。

いろいろな観光資源の誘致のほかにも、前回水族館建設ということもお願いしたんですけれども、いろいろな面で福生はどういうものが誘致されるのだろうと。そういうものをひとつぜひそういう研究の中より、委員会の中で検討していただきたいと先ほど公園に要らなくなった飛行機と申し上げたんですけれども、なかなかやはり無理だと思ひますし、その研究の中でひとつ検討していかれるのがやはり妥当だと思ひます。

次に公営駐車場ですけれども、これは西多摩行政圏の基本計画の中で、六十五年か六十五年度に盛り込まれているわけです。これは大変結構だと申し上げてよいのかちょっと迷ってしまうんですけれども、予算も十八億六千九百万円ですが、牛次周辺駐車場の整備、福生西口駐車場整備と。これは防衛補助でやられるよりも、防衛補助はメニュー獲得も大変だからこの行政圏でひとつやってみよう。行政圏の方が得だから、何か国とか都からそのための補助が来るわけですか、そういうことでこれは入れたのかどうか、その点一つ確認したと思ひます。

先ほど市長さんはメニュー獲得は難しいというようなことで——やはりあきらめるわけにはいきませんですね、行革審でも強く言っています、この件については。

だからこの際、この行政圏の中での考えというのはお聞きしてみないとわかりませんけれども、要するに先ほどの答弁の中では、市長さんもやはり補助事業獲得で基地対の皆さんとともに頑張っていたと、こういうことを申し上げているんですから、前回も申し上げたように、駐車場の件ですけれども、メニューを開拓していくにおいては、あの因果関係をつくっていくには、やはりこの前も申し上げたように福生の東口の米軍の不法駐車、こういったものをやはり一つの因果関係に結んで——補助事業を獲

得してせうかく飯に地下をつくったとしても余りメリットはないと思いますけれども、一つはメニューの開拓のきっかけということで、私はこの前も申し上げたんです。

もう一つは、牛浜周辺というが市民会館、それから野球場の駐車場ということで、あそこは公園、避難場所ということで幾つか千歳と似ているということと、この前も申し上げましたように、いろいろ市民会館にアメリカの将校の奥さんなんかはカルチャーセンターで大変利用しているということで、そういうことも絡めて、何とかひとつメニュー開拓の因果関係をつくっていきましようというふうなことを、この前市長さんにも申し上げたわけです。

先ほど、赤星議員さんの答弁の中でも、私が前回お聞きしたときより現在の経過をお聞きしても、努力はされているんでしょうけれども全然変わりはないと。いろいろ物色しているんだけど結果は出てこない。前回も、じゃあひとつ市民会館、野球場の公園の地下を、周りになかつたりもう地下を掘る以外はないと。地下をひとつどうですかと言ったり、検討どうか研究してみないとかなかたというふうな、そういう答弁だったですね。先ほど、赤星議員からも、やっぱり市民にいろいろな面で大変迷惑心をかけているんだと。また市長さんもそれを認めているわけですから、手の打てるもの

は打っていただきたいということで、いろいろ周りを努力したけれども、物色したけれどもないということですから、地下に潜る以外はないと思うんです。どうかひとつ地下駐車場にできるかどうか調査費を組んでもうたいです。それを一つやっていたらできるかどうかお尋ねいたします。

次に民間機乗り入れですけども、今御承知のとおり国産機が目覚ましい進展をしているわけです。YS11の代替えとしてジェット機「あすか」が、御承知のとおり昨年十月初飛行し、それに成功して三年間の試験飛行が予定されているということですが、この「あすか」は低騒音で、騒音被害面積も在来機の例えばDC9型の五分の一で済むというんです。滑走路も在来機の半分程度、約九百メートルだっていうんです。そういう離着陸できる高性能のジェット機だっているわけです。また、この間新聞に出ていましたけれども、神津島というんですか、その場所、新しく空港ができるんですけれども、その滑走路は約八百メートルだっているんです。ただ、滑走路が短くて済む性能のいい飛行機ができてくるわけです。そういうことで、ヘリポートなりなお面積はとらない。

前回、市長さんは、米軍側の了解、あるいは採算性の問題とか環境上等の

問題に、できれば広域的に取り組んでいきたいとこのように答弁されていますが、状況は刻々と変わっていくわけです。そういった状況を把握した中で、西多摩広域行政圏——先ほど市長さんが既にお話してあるとおっしゃいましたが、さらにやはり努力されて、この前もお話しているわけですが、羽村ではやはりこれ出ているわけですが、やっていたら、みんなが困っていると。みんなが困っているこうしたものは、力を合わせて、合わせなければできない問題をどんどん協議会に持ち込んでほしいと。これに対して町長さんは、意を徹してやっていますと、こう言っているわけです。だから福生の市長さんがそういった行政圏に話を出しても、また話を出すときにも、町長さんもうこういう問題を要望されているんで御協力をお願いしますと大変話がしやすいわけですから、さらにひとつ広域行政圏の実施計画まで運動方針に持っていくように、さらに積極的に働きかけをしていただきたいと、このように思います。

それで、今お願いした件は、ちょっと余りしゃべり過ぎちゃったんで、確認はちょっと……答弁している間に考えますので、一応とりあえず気がついた点から御答弁をお願いいたします。

○議長(森田治男君) 二時五分まで休憩します。

午後一時四十八分 休憩

午後二時 六分 開議

○議長(森田治男君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

○市長(田村匡雄君) 宮沢議員さんの御質問に、自席からお許しをいただきます。御答弁申し上げます。私からは横田基地の民間機乗り入れについての件について御答弁申し上げます。

先ほど申し上げたように、航空機の乗り入れにつきましては広域圏の中で話しかけてございます。さらに、皆さんの話を進め、合意をもって国なり都なりへできますようこれからも努力してまいりたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

○企画財政部長(内田和雄君) 自席からお許しをいただきまして、駐車場関係の御質問に御答弁させていただきます。

西多摩地域の広域行政圏計画の中に、福生駅西口駐車場、それから牛次駅周辺の駐車場問題がのっていることに対しての問題でございますが、これが国庫補助——例えば建設省とか防衛庁とかそういう関係での補助金をもらうにいたしま